事業者排出量削減報告書

(宛 先) 京都市長			平成25年 7月26日						
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)			報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名)						
京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14			日本新薬株式会社 代表取締役社長 前川 重信 電話 075- 321-1111						
主たる業種	医薬品製剤製造業					細分類番号	1	6	5 2
事業者の区分 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第			☑ 7 □ 1 □ 2	'又はウ					
計 画 期 間									
	基準年度(H20年度~H22年度)を基準に、平成23年度~平成25年度の温室効果ガス排出量を10%程度削減する。								
計画を推進するた めの体制	る節電・省エネ推進委員会において、継続して節電・省エネ活動を実施している。						であ		
		基準年度 (20~22) 年度	第1年 (23) 4		2 年度 4)年度	第3年度 (25)年度	増	減	率
温室効果ガスの排	事業活動に伴う排出の量6,		4, 832. 1	トン 4, 431		トン	-24. 6	3 /	ペーセント
出の量	評価の対象となる排出の量5,	, 966. 2 h>	4, 832. 1	トン 4, 43]	1.5 トン	トン	-22. 4	1 /	ペーセント
	実績に対する自己評価	電・省エネ推進組織的に活動し	委員会及びI た結果、目標	KESによるEMS縦標10%削減に対	狙織等で消灯 し22.4%の肖	丁、適正冷暖房をは 削減を達成した。	はじめ残業	時間の	制限な
	事業の用に供す る建築物の用途 原 単 位 の 指 標	基準年度 (22) 年度	第1年(23)4	~ ~	2 年度 4)年度	第3年度 (25)年度	増	減	率
原単位当たりの温 室効果ガス排出量 等	研究施設、事務所 (京都支店含む) 事業活動に伴う排出の量 (延床面積:30,105㎡)	2.04	1	. 61	1.47		-24. 51	1 /	ペーセント
	事業活動に伴う排出の量							,	ペーセント
	実績に対する自己評価を	単位当たりの排と 達成した。	出量におい	ても組織的な活	舌動を推進し	ンた結果、目標10%	削減に対し	_24. 5%	の削減
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22) 年度	第1年(23) 4		2 年度 4)年度	第3年度 (25)年度	備		考
		4. 0	88. 0	パー 88.0	パー セント	バー セント			
具体的な取組及び	(23) 年度 照明器具の間引			き、空調の適正温度の管理及び運転制限を実施した。					
措置の内容	(24) 年 度 H23年度の取組・			を継続し、更に研究所の空調を高効率の機種に更新した。					
	(25) 年度								
通勤における自己 の自動車等を使用 することを控えさ		原則として毎月16日を公共交通機関による通勤推奨日とし、実施率100%の目標に対して53%の実施率(延べ日数)であった。				100%			
せるために実施し た措置	上記の措置を実施した結果に対する自							への通	
森林の保全及び整備,再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	f	第2年度 (24)年度	#	第3年度 (25) 年度	備	ā	考
	森林の保全及び整備によるもの	0.0	_	0.0		トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0	トン	0.0	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又 は熱の供給によるもの	0.0	トン	0.0	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0	トン	0.0	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の 量の購入によるもの	0.0	トン	0.0	トン	トン			
	合 計	0.0	トン	0.0	トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に 資する社会貢献活 動	京都市の小学生を対象とした出前授業を 担う子どもたちに地球環境保護の重要性				炭素吸収	(実験などの授	業を行	い、ど	欠代を
特 記 事 項									

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。